

2013年5月9日

報道関係者 各位

ライフネット生命保険株式会社

～先輩ママに聞く、妊娠・出産時のお金に関する調査～

◆出産を経験した先輩ママが後悔していることは？◆

「妊娠出産時にかかるお金・もらえるお金」知らずに後悔 先輩ママの3割
出産時に医療保険に加入していなかったママの嘆き！？
「妊娠後は保険に入りづらくなる」ことを前もって知っておきたかった…

◆妊娠・出産で実費はいくらかかった？◆

先輩ママの妊娠・出産での自己負担 平均 27.3万円
一方、プレママは平均 41.1万円の負担がかかると想像

◆意外と多い！？出産時のトラブル◆

先輩ママの3人に1人が出産時にトラブルを経験

◆妊娠・出産でもらえるお金◆

「高額療養費制度」や「医療費控除」を理解していない先輩ママ 3割半

◆目からウロコの医療保険の話◆

「帝王切開などのトラブルで医療保険がおきる」先輩ママも2割が知らない
「妊娠後 27週を過ぎると医療保険に入りづらい」先輩ママもプレママも6割が知らない
出産時にトラブルを経験した先輩ママの9割が「医療保険に入っていて良かった」

◆先輩ママの経験談は知識の宝庫◆

「医療費控除のため、タクシー代などの交通費や薬代のレシートをとっておいて！」
「母子手帳で割引になるタクシー」もあれば「破水すると乗れないタクシー」も？

◆先輩ママがオススメするマタニティーライフの過ごし方◆

1位「夫婦でグルメデート」、2位「のんびり過ごす」、3位「夫婦で旅行」

本リリース内容の転載に際しては、「ライフネット生命調べ」とご記載ください。

PDF版・グラフデータは、ライフネット生命ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

<http://www.lifenet-seimei.co.jp/newsrelease/>

本件に関するお問い合わせ先

ライフネット生命保険株式会社 マーケティング部: 関谷

TEL: 03-5216-7900

ライフネット生命保険株式会社

Copyright© LIFENET INSURANCE COMPANY All rights reserved.

アンケート総括

インターネットを活用して新しい生命保険サービスを提供するライフネット生命保険株式会社 (URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/> 本社: 東京都千代田区、代表取締役社長 出口治明) は 2013 年 2 月 28 日～3 月 4 日の 5 日間、25～39 歳の“出産から 3 年未満の女性(先輩ママ)”を対象に、「妊娠出産時のお金に関する調査」をインターネットリサーチで実施、1,000 名の有効回答を集計しました。

また、今回の調査と併行して、25～39 歳の“第一子を妊娠中の女性(プレママ)”240 名を対象とした比較調査を実施しました。先輩ママの声やプレママの不安から、“初めての出産を迎えるママが知っておくべきこと”を探ります。

■ 「妊娠出産時にかかるお金・もらえるお金」知らずに後悔 先輩ママの 3 割

■ 出産時に医療保険に加入していなかったママの嘆き！?

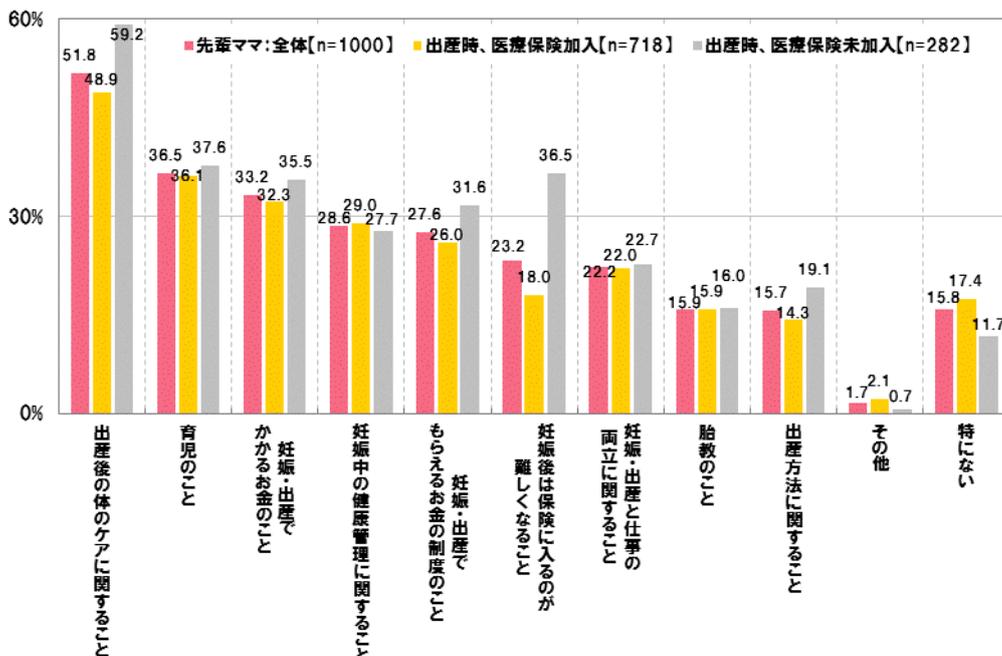
「妊娠後は保険に入りづらくなる」ことを前もって知っておきたかった…

25～39 歳の“出産から 3 年未満の女性”(以下、“先輩ママ”と呼称)1,000 名に対し、妊娠・出産前にもっと知っておけば良かったと後悔していることを聞いたところ、「出産後の体のケアに関すること」(51.8%)、「育児のこと」(36.5%)に次いで、「妊娠・出産でかかるお金のこと」(33.2%)が続きました。また、「妊娠・出産でもらえるお金の制度のこと」(27.6%)も 5 番目に多い回答となり、妊娠・出産のお金周りのあれこれについて、知らずに後悔した先輩ママが多い様子が窺えます。

また興味深い結果として、「妊娠後は保険に入るのが難しくなること」について、出産時に医療保険に加入していなかった先輩ママ(36.5%)は、出産時に医療保険に加入していたママ(18.0%)と比べ、後悔の割合が 2 倍と高くなりました。

“先輩ママ”に聞きました！

◆ “妊娠・出産前にもっと知っておけば良かった”と後悔していること (複数回答)



■ 先輩ママの妊娠・出産での自己負担 平均 27.3 万円

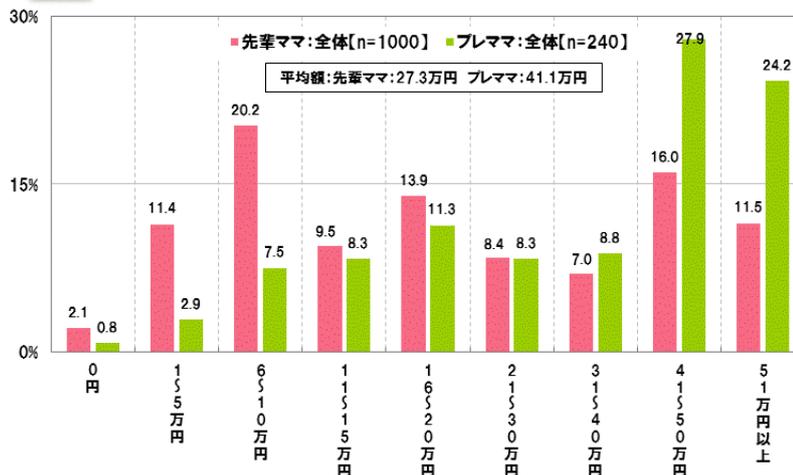
一方、プレママは平均 41.1 万円の負担がかかると想像

それでは、妊娠・出産でどのくらいの費用を自己負担することになるのでしょうか。

先輩ママに、健診や通院・入院・分娩にかかる費用をどのくらい自己負担したか聞いたところ、「1～20 万円」に半数以上(55.0%)の回答が集まりました。一方、「41 万円以上」自己負担した先輩ママも 2 割半(27.5%)ほどみられ、平均額は 27.3 万円となりました。同様に、25～39 歳の“第一子を妊娠中の女性”(以下、“プレママ”と呼称)240 名に、どのくらい妊娠・出産費用を自己負担するイメージがあるかを聞いたところ、「41 万円以上」とする回答が半数以上(52.1%)で、平均額は 41.1 万円となりました。先輩ママは出産育児一時金などのさまざまな公的支援を上手に活用したためか、プレママの想像よりもずっと少ない持ち出しで出産できた方が多いようです。

“先輩ママ” “プレママ” 両方に聞きました！

- ◆ 先輩ママ どのくらい妊娠・出産費用を自己負担したか
- ◆ プレママ どのくらい妊娠・出産費用を自己負担するイメージがあるか (自由回答:数値入力)

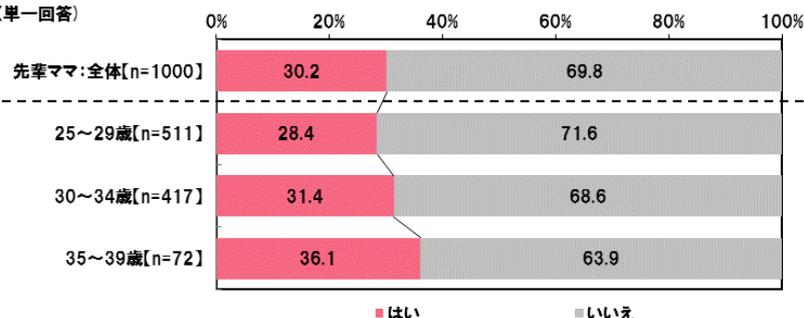


■ 先輩ママの 3 人に 1 人が出産時にトラブルを経験

先輩ママに、直近の出産時に重度の悪阻(つわり)・切迫早産・帝王切開などによる入院・手術などのトラブルがあったか聞いたところ、3 割(30.2%)の方が、これらのトラブルを経験していたことがわかりました。また、年齢が上がるにつれて、トラブルを経験している割合も上がるようで、30 代後半の先輩ママでは 3 割半(36.1%)と、他の年代よりも高い割合になっています。

“先輩ママ” に聞きました！

- ◆ 重度の悪阻(つわり)・切迫早産・帝王切開による入院・手術などのトラブルがあったか (単一回答)



■ 妊娠・出産時にもらえるお金は先輩ママ・プレママの多くが理解

■ 一方、先輩ママでも自己負担額が減らせる制度は、意外と知らない… 「高額療養費制度」や「医療費控除」を理解していない先輩ママ 3 割半

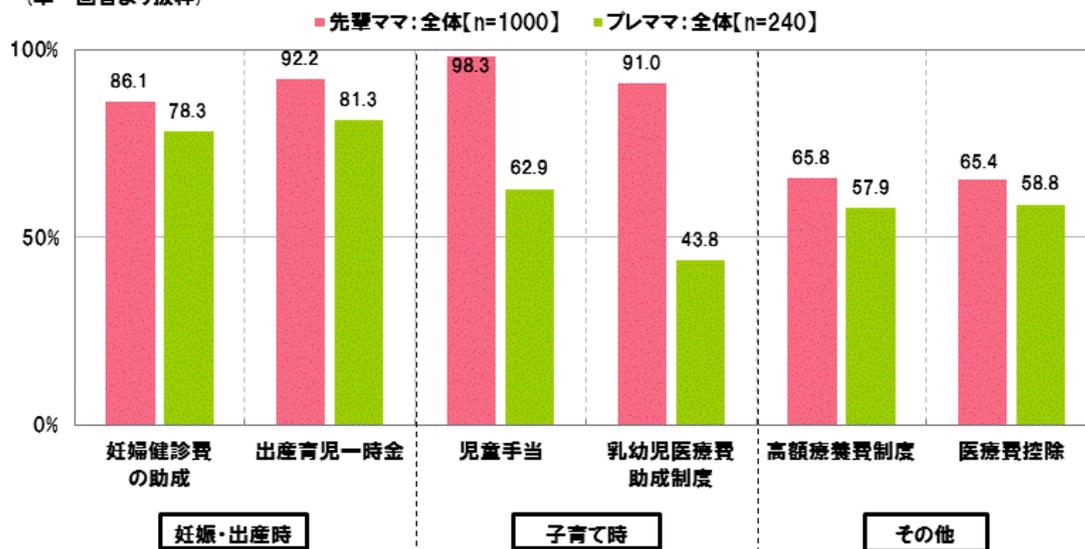
先輩ママに、妊娠・出産でもらえるお金の制度についてどの程度知っているかを聞いたところ、基本 14 回分の妊娠健診費の一部、または全部に対し補助金が出る《妊娠健診費の助成》では、「内容を知っている(どんなときにお金をもらえるか)」と答えた割合が 86.1%、健康保険から出産した子ども一人につき 42 万円が支給される《出産育児一時金》では 92.2%となりました。

対して、プレママでは、《妊娠健診費の助成》の制度を理解している割合は 78.3%、《出産育児一時金》では 81.3%と、先輩ママ・プレママともに妊娠・出産時にもらえるお金の制度については多くの方が理解されているようです。

一方で、医療機関や薬局の窓口で支払った額が一定額を超えた場合に、超えた分の金額を支給してくれる《高額療養費制度》(65.8%)や、年間の医療費が 10 万円を超えた場合に受けられる《医療費控除》(65.4%)を理解している割合は 6 割半となり、3 割半の先輩ママはこれらの制度を十分に理解できていないことがわかりました。今回挙げた制度のほかにも、働いているママは“傷病手当金”や“出産手当金”などの対象となる場合がありますので、出産前に自分がどんな公的支援の対象になるかしっかりと調べ、もらいそびれがないように準備をしましょう。

“先輩ママ” “プレママ” 両方に聞きました！

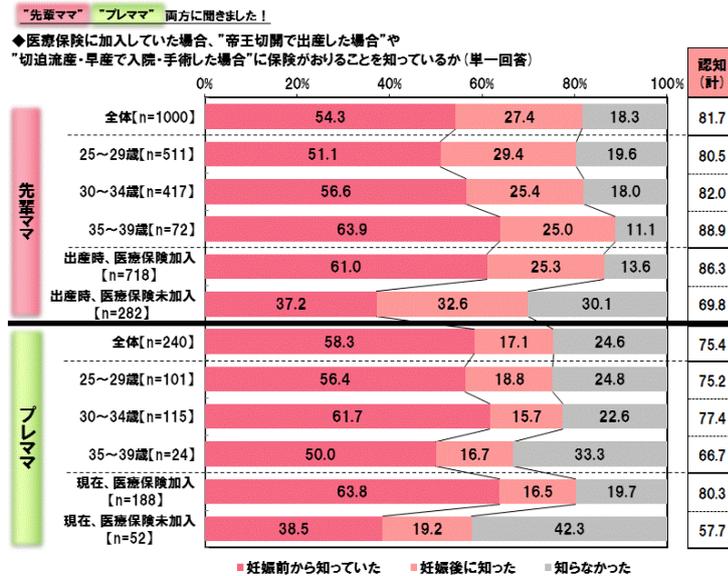
◆妊娠・出産・子育てでもらえるお金の制度について、どんなときにお金がもらえるか、知っている割合 (単一回答より抜粋)



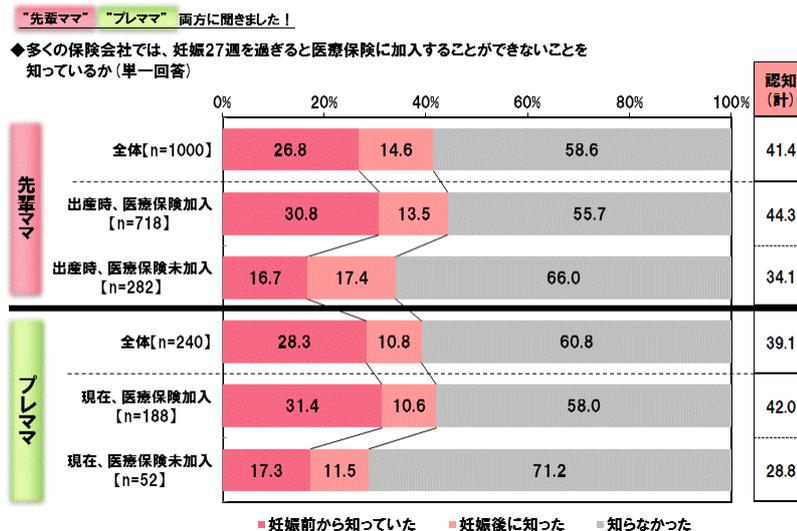
■「帝王切開などのトラブルで医療保険がおける」先輩ママも2割が知らない

■「妊娠後27週を過ぎると医療保険に入りづらい」先輩ママもプレママも6割が知らない

なにかと出費がかさむ妊娠・出産時ですが、民間の医療保険に加入していると、“帝王切開で出産した場合”や“切迫流産・早産で入院・手術した場合”などのトラブルに遭われた際には給付金が受け取れる場合があります。この事を「妊娠前から知っていた」先輩ママは5割半(54.3%)に留まり、「妊娠後に知った」方が2割半(27.4%)、「知らなかった」方が2割(18.3%)となっています。



また、多くの保険会社では、妊娠27週を過ぎると医療保険に加入しづらくなりますが、この事を「妊娠前から知っていた」先輩ママは2割半(26.8%)、「妊娠後に知った」は1割半(14.6%)、「知らなかった」は6割(58.6%)となりました。



※ライフネット生命では、妊娠週数(月数)に関わらず医療保険に申し込みただけ、保障は契約成立後すぐに始まります。詳しくは、こちらのページ(<http://www.lifenet-seimei.co.jp/maternity/>)をご覧ください。

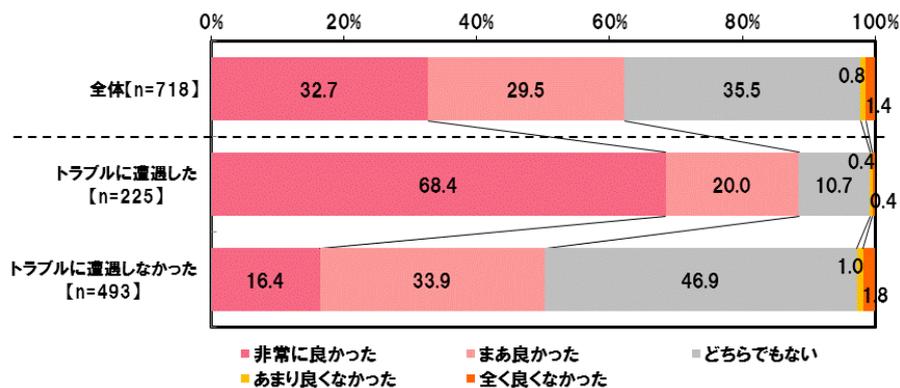
■ 出産時にトラブルを経験した先輩ママの9割が「医療保険に入っていて良かった」

実際に出産時に医療保険に加入していた先輩ママの満足度はどうなのでしょう？

先輩ママの6割(62.2%)は医療保険に加入していて『良かった(計)』(「非常に良かった」+「まあ良かった」と回答しており、出産時にトラブルに遭遇した先輩ママでは『良かった(計)』が9割(88.4%)、トラブルに遭遇しなかった先輩ママでも5割(50.3%)が『良かった(計)』と回答しています。

“先輩ママ”に聞きました！

◆ 出産時に医療保険に加入していて、良かったと思うか(単一回答)
 ※対象者: 出産時に医療保険に加入していた先輩ママ



その理由について具体的に聞いたところ、「下の子は普通分娩だったので保険は関係ないと思っていたのに出産時トラブルがあり緊急手術となったため給付金を受け取ることができた。」や、「吸引分娩での出産で帝王切開ではないので保険はおりないと思っていたのですが、請求書の手術の項目に点数があり聞いてみたところ保険対象だったので保険がおりてとても助かった。」など、想定外のトラブルに遭遇した、おりないと思っていた保険がおりた、などの声が多く挙がりました。出産時のトラブルは心身への影響に加え、金銭的な負担も大きくなってしまいますので、医療保険を上手に活用して負担や不安を少しでも解消していただければと思います。

◆ 出産時に医療保険に加入していて良かったと思う理由(自由回答)
 ※回答抜粋

年代	直近の出産時期	子ども	自由回答内容(原文まま)
20代	1年未満	1人目	産後体調が良くなく、かなり長期入院をしたので、保険が下りて本当に助かった。
20代	1年未満	2人目	吸引分娩での出産で帝王切開ではないので保険はおりないと思っていたのですが、請求書の手術の項目に点数があり聞いてみたところ保険対象だったので保険がおりてとても助かった。
20代	1年未満	2人目	妊娠5ヶ月の時に切迫早産と診断され、その後臨月に入るまで約3ヶ月入院していました。医療費がかなりかかりましたが、保険に加入していたため幸いプラスマイナス0で済みました。
20代	1~2年未満	2人目	術後の健診の費用や、薬代にあてたり、体調が悪く、家事など出来ない時などのコインランドリー・お弁当などの費用に使える家計が大助かりだった
20代	1~2年未満	2人目	帝王切開口まならなかったが、もしもの時の安心感があった。精神的に入っていてよかったと思う。
30代	1~2年未満	2人目	上の子のときは切迫早産と帝王切開で入院手術保険金を受け取った。下の子は普通分娩だったので保険は関係ないと思っていたのに出産時トラブルがあり緊急手術となったため保険金を受け取ることができた。普通に出産し保険金のお世話にならないと越したことはないが、保険に加入していたおかげで無駄に痛い思いをしなくて済んだと感じている。
30代	1~2年未満	2人目	一人目が帝王切開だったので、下の子も帝王切開で、保険が下りたのでとてもよかったです。
30代	1年未満	3人目	切迫流産でしばらく入院していたが、入院費用の心配をせずにしっかり治療に専念できたため。
30代	2~3年未満	1人目	保険があったおかげで、長期入院の費用をまかなうことができ、産後も大変だったので、金銭面の余計な悩みが減って良かったです。
30代	2~3年未満	3人目	重度な悪阻と切迫早産で入院を繰り返し、経済面でも予定外に掛かったため、その分保険のお陰で補えたので本当に良かったです。

■先輩ママの経験談は知識の宝庫！

「医療費控除のため、タクシー代などの交通費や薬代のレシートをとっておいて！」

「母子手帳で割引になるタクシー」もあれば「破水すると乗れないタクシー」も？

先輩ママに、これから初めての出産を迎えるプレママに向けたアドバイスをもらいました。

健診や病院などの選び方、ベビーグッズの購入方法から医療費補助や自治体の支援の利用方法まで、さまざまなアドバイスが挙げられました。

「医療費控除が受けれる場合があるので、家族全員の医療費の領収書、交通費、薬局などで購入した薬などのレシートをとっておくといいです。」や、「里帰り出産は、健診費の助成チケットが里帰り先の産院でも利用できるか確認しておいたほうがいいです。」といった医療費や健診に関するアドバイス。

また、「タクシー会社によりますが、母子手帳の提示で乗車料金が割引になる場合があります。」や、「タクシーなど事前に破水していても乗せてくれるかを聞いておくといいです。破水中だと伝えたら乗せてくれなくて、慌てて違うタクシー会社の電話番号を調べたりして、破水して1人で不安だし怖かったのに断られてかなり焦ったし泣きそうでした。」といったコメントも寄せられました。

そのほかにも、先輩ママから多くのアドバイスが寄せられていますので、出産を控えていらっしゃる方はぜひ参考にさせていただきます。



目からウロコ！ 妊娠・出産にかかるお金について

先輩ママからのアドバイス

健診・健診費の助成
里帰り出産の助成チケットが里帰り先の産院でも利用できるか確認しておいたほうがいいです。

健診代が自腹にっ！
予定通りなら健診代自腹でした。

想像以上の出費だった！
1年過ぎると買えません。子どもの医療費の払戻しは、産後が一年を過ぎるともらえないので、子育てが一段落したら、早めに申請しておく方がいいです。

出産費用一時金
クレジットがBest!
出産費用は自費で、出産一時金から還付することもできるが、出産費用は高額なので、別荘クレジットカード払いにするクレジットカードのポイントを付くのが良いです。

申請もいろいろ
出産予定の病院に、あらかじめ入院費用がどれくらいかかるか聞いておく。退院の際に必ず支払う必要があります。出産一時金は、後から自分で申請して返す場合と、病院で申請してくれて、残りの自己負担分のみ支払えば良い場合があるので、事前に確認した方が良いでしょう。

医療費控除
購入した薬などのレシートをとっておく
医療費控除が受けれる場合があるので、家族全員の医療費の領収書、交通費、薬局などで購入した薬などのレシートをとっておくといいです。

病院によって差が...
妊婦健診費用は病院によってかなり差があるから、妊婦前情報を集めておくといよ、健診費用を全額負担してもらえない場合、エコー検査は毎回必須な検査ではないから、体調や産後と相談していいと思うから受けなくても大丈夫。

自治体によって差が
妊婦中に3つの市に移りましたが、それぞれの市によって妊婦健診の助成金額がかなりの差がありました。産前産後を念頭に置いて、自治体がある方あらかじめ調べておいて予定を立てて方がいいと思います。

最初1~2回は実費です
自治体によって、健診費の助成内容が全く違うので、健診費の内容が全額自分で支払う必要があります。母子手帳交付されてからしかもらえないので、最初1~2回は実費です。

申請もいろいろ
出産予定の病院に、あらかじめ入院費用がどれくらいかかるか聞いておく。退院の際に必ず支払う必要があります。出産一時金は、後から自分で申請して返す場合と、病院で申請してくれて、残りの自己負担分のみ支払えば良い場合があるので、事前に確認した方が良いでしょう。

医療費控除の確定申告が出来てお得意!
産後が長いので、妊娠(妊婦健診)の出産までは、年度の確定申告が10月を過ぎる確率が高くなるので医療費控除の確定申告が出来てお得意。助産院などの母乳マッサージも医療費に入るので、確定申告はとっておくこと。

産後は計画的に
出産をする際にはお子さんと自分の為にも節約は必須です。

健診に使えるクーポンも!
市町村によって違いますが、健診に使えクーポンがあります!あと保険でカバーできる割引などもあるので、情報収集は必須です!

助成の対象年齢に注意!
自治体によって乳児医療費助成の無料になる対象の年齢が異なります。

支払額に気を付けて
自治体や病院によって違いますが、私の出産した病院では産後後一時金をもらうだけでなく、産後後支払いの際に一時金との差額のみ支払えば大丈夫なような制度を取り入れていたため、産後後に支払う費用が少なくて済むので安心でしたよ!



産前保険
ギリギリになって
助産院は普通分娩をするので私も当たり前前に準備ができていたけど、産前に入ってから破水して初めて産院が決まらなくて、産前に入ってから破水して初めて産院が決まらなくて、産前に入ってから破水して初めて産院が決まらなくて...

突然のご褒美!
普通分娩を希望していても赤ちゃんの予定日や母体が原因で帝王切開になることもあるので、妊婦前に保険に加入しておく方がいいです。給付金は生活費の補助にだけ使ったお母さんへのプレゼントにもなりませう。

保険は必ず入った方が...
保険は必ず入っておいた方がいいです。保険会社によりますが、吸引分娩でも保険がおりることもありますが、とても助かります。

高額療養費
申請もいろいろ
予定帝王切開の人は事前に健康保険協会に高額療養費の申請をしておく。窓口での支払いが少なくて済み、高額療養費の手続きが楽になるのでおすすめです。

自治体
千歳の子ーパス
千歳には子ーパスという割引が出来るパスがあります!

児童手当
児童手当は早めの申請を
子ども手当の申し込みが遅くなると、1ヶ月分も減る申請が遅くなるので、早めに申請した方がいいですよ。

重度のつわりで入院
妊婦してすぐ重度のつわりで2度入院して、そのあとまた産院が決まらなくて、保険に入らなくていいけど少額の負担が少なかったかなと思っちゃいます。

帝王切開になってしまった
私は自然分娩を希望していても赤ちゃんの予定日や母体が原因で帝王切開になることもあるので、妊婦前に保険に加入しておく方がいいです。給付金は生活費の補助にだけ使ったお母さんへのプレゼントにもなりませう。

保険に必ず入った方が...
保険は必ず入っておいた方がいいです。保険会社によりますが、吸引分娩でも保険がおりることもありますが、とても助かります。

普通分娩以外は保険適用
帝王切開など普通分娩以外だと保険適用にならない。高額療養費など利用できる制度が少なくないので、色々調べたり問い合わせた方がいいと思う。自分も高額療養費の申請をしておく。窓口での支払いが少なくて済み、高額療養費の手続きが楽になるのでおすすめです。

岡山県でもいろいろ
岡山県では、ももっカードを作っておくと、いろいろある所で割引などのサービスが受けられます。

注意!
万が一のために
出産後は五日間の入院で、5万円あれば足りると聞いていたが、出産後に産院に連絡してしまい、入院期間が延びたり出産や入院代も二倍の支払いをすることになった。万が一を考えてお金の用意を確保しておくべき。

保険会社に問い合わせを
入院や手術が決まった場合は加入している保険会社に問い合わせるべき!1日入院だと病院の診断書で1トントンになる事もあるで、病院にも文書代を請求する方がいいです。

保険によりけり
今加入している保険が、緊急入院や帝王切開で給付金がもらえるか確認しておいた方がいいですよ。

おトクだね!!
日光市はチケット1年分
日光市の場合、第2子以降に毎月2500円分のギフト、オムツ、授乳用品に使えるギフトを1年間(総額30000円!)もらえました!

チャイルドシート
チャイルドシートは市によって無料貸し出しや助成金がある場合があるので調べてからがいいです。

お住まいの地域、病院などによって制度や仕組みは異なります。また、すでに終了している可能性がありますので、詳細は各自治体や病院にお問い合わせください。
クレジットを主とする場合、健康、医療の分野に限り、2023年2月28日-3月4日
※一部自治体は出産一時金の支給対象年齢が異なる場合があります。



お住まいの地域、病院などによって制度や仕組みは異なります。また、すでに終了している可能性がありますので、詳細は各自治体や病院にお問い合わせください。
クレジットを主とする場合、健康、医療の分野に限り、2023年2月28日-3月4日
※一部自治体は出産一時金の支給対象年齢が異なる場合があります。



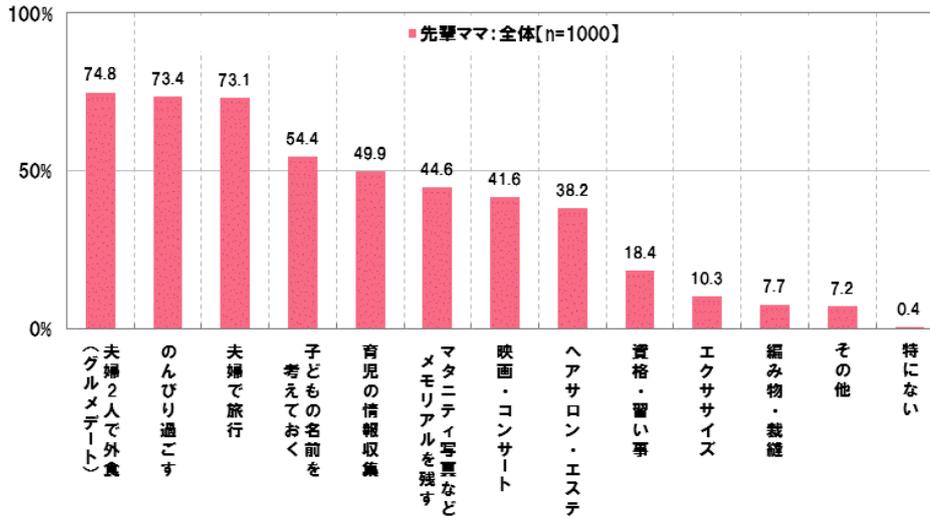
■ 先輩ママがオススメするマタニティーライフの過ごし方

1位「夫婦でグルメデート」、2位「のんびり過ごす」、3位「夫婦で旅行」

また、お金関係以外で出産前にやっておくことをオススメするところ、「夫婦で外食(グルメデート)」(74.8%)や「のんびり過ごす」(73.4%)、「夫婦で旅行」(73.1%)といった回答が7割半で上位に並びました。夫婦2人の時間やのんびりした時間を過ごすことがオススメなようです。

“先輩ママ”に聞きました！

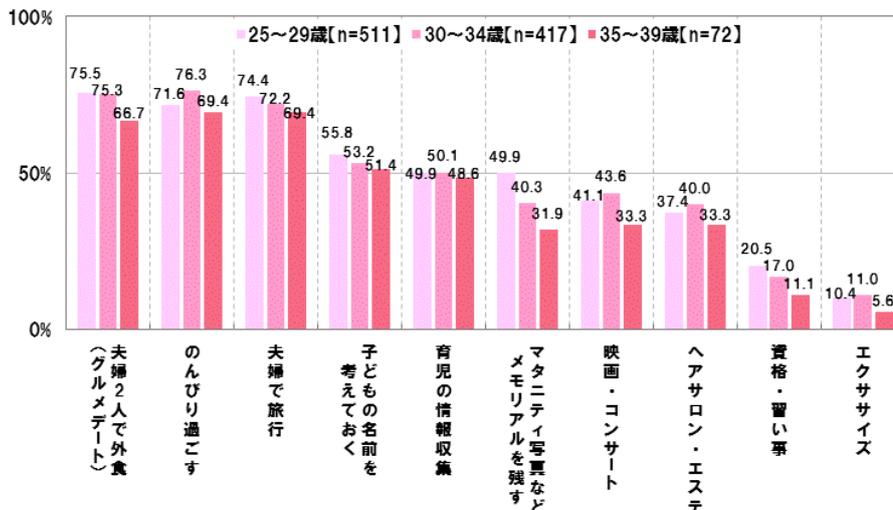
◆プレママへのアドバイスとして、お金関係以外で、“出産前にやっておくことをオススメする”こと
 (複数回答) ※上位10項目を抜粋



また、25～29歳の先輩ママの半数(49.9%)は、「マタニティ写真などメモリアルを残す」ことをオススメしています。お金のことなど、不安なことも沢山あると思いますが、マタニティーライフを楽しんで過ごすことも大切なことだと先輩ママは考えているようです。

“先輩ママ”に聞きました！

◆プレママへのアドバイスとして、お金関係以外で、“出産前にやっておくことをオススメする”こと
 年代別(複数回答) ※上位10項目を抜粋



■■ 調査概要 ■■

- 調査タイトル: 先輩ママに聞く、妊娠出産時のお金に関する調査
- 調査対象: ネットエイジアリサーチのPC・モバイルモニター会員を母集団とする
25～39歳の出産から3年未満の女性(先輩ママ): 1,000名
25～39歳の初子を妊娠中の女性(プレママ): 240名
- 調査期間: 2013年2月28日～3月4日
- 調査方法: インターネットリサーチ
- 調査地域: 全国
- 有効回答数: 1,000サンプル/240サンプル(それぞれ有効回答から無作為抽出)
- 実施機関: ネットエイジア株式会社

■■ 報道関係者様へのお願い ■■

本リリース内容の転載にあたりましては、「ライフネット生命調べ」という表記をお使い頂けますよう、お願い申し上げます。

- 会社名 : ライフネット生命保険株式会社
- 代表者名 : 代表取締役社長 出口 治明
- 設立 : 2006年10月
- 所在地 : 東京都千代田区麹町二丁目14番地2 麹町NKビル
- 業務内容 : インターネットを利用した生命保険の販売
- ホームページ : <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

ライフネット生命保険株式会社 マーケティング部: 関谷
TEL:03-5216-7900

調査協力会社: ネットエイジア株式会社

◆ ライフネット生命について URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

ライフネット生命保険は、相互扶助という生命保険の原点に戻り、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスの提供を追求する」という理念のもとに設立された、インターネットを主な販売チャネルとする新しいスタイルの生命保険会社です。インターネットの活用により、高い価格競争力と24時間いつでも申し込み可能な利便性を両立しました。徹底した情報開示やメール・電話・対面での保険相談などを通じて、お客さまに「比較し、理解し、納得して」ご契約いただく透明性の高い生命保険の選び方を推奨し、「生命(いのち)のきずな＝ライフネット」を世の中に広げていきたいと考えています。

ライフネット生命保険株式会社

Copyright© LIFENET INSURANCE COMPANY All rights reserved.